

1 経緯（概要）

- 仙台医療圏における医療需要の変化・従事者不足が見込まれる中、持続可能で良質な医療の安定的な供給に向けて、拠点病院の存続・再編（最適化）が必要
- 県立がんセンターのあり方検討を契機に、県立がんセンター・県立精神医療センター、仙台赤十字病院、東北労災病院による病院再編にかかる協議を開始

2 県立病院が抱える課題（あり方検討会議提言）

がんセンター	がんを総合的に診療できる機能を有する病院の実現には、他の医療機関との連携・統合の検討が必要
精神医療センター	施設老朽化により建替急務、個室確保困難（10年以上建替候補地模索） 身体症状を伴う患者対応のために、一般病院との連携体制構築が必要

3 仙台医療圏が抱える課題

救急	仙台市以外の救急搬送約20,000件のうち半数が、特に黒川地域、名取市では事案の7割が仙台市内へ搬送
災害	黒川地域は災害拠点病院の空白地域、名取・岩沼地域はDMATの派遣体制が限定的
周産期	専門的な周産期医療提供施設は仙台市内のみ、仙南医療圏での分娩休止も相まって、仙南からの緊急搬送増



4 病院再編構想

- 4病院を2つずつ統合・合築させ仙台医療圏の南北に配置、課題解決を目指す

県立精神医療センター (@名取市)

病床数：258床 築41年

黒川地域へ移転・合築

措置入院・精神救急・身体合併受入
 仙台医療圏北部の救急搬送時間短縮
 仙台医療圏北部の災害拠点病院
 脳卒中センター創設を見据えた機能強化

東北労災病院 (@仙台市)

病床数：548床 築20-40年

県立がんセンター (@名取市)

病床数：383床 築31年

がんを総合的に診療できる体制構築
 がん診療拠点機能維持
 仙台医療圏南部の救急搬送時間短縮
 仙台医療圏南部の災害拠点病院
 仙南医療圏を含めた周産期医療提供

名取市へ移転・統合

仙台赤十字病院 (@仙台市)

病床数：389床 築42年